

学会在庫の刊行物について

現在「気象研究ノート」「夏季大学テキスト」「気象学の手引」等の在庫があります。今がお求めの絶好のチャンスです。お陰で売り切れが続出しました。残部の少ないものもありますので、ご希望の方は、申込者名・送り先・希望の印刷物と冊数・代金の支払方法を明示して、お早目に事務局（〒100 東京都千代田区大手町1-3-4 気象庁内）へお申し込み下さい。

気象研究ノート

- 第100号(1969年) 僅少
 (回顧と抱負)特集
- 第116号(1973年11月)
 ライダ(レーザレーダ)と気象観測
- 第119号(1974年6月) 僅少
 都市・建築と気象
- 第121号(1974年6月) 僅少
 雲物理特集 I ——氷の物性——
- 第122号(1974年11月)
 雲物理特集 II ——雲核・氷晶核——
- 第123号(1974年12月)
 雲物理特集 III ——雪結晶・あられ・ひょうの生成——
- 第124号(1975年8月)
 流れの可視化法
 追補 境界層と乱流
- 第126号(1975年11月)
 大気中の内部重力波
 I. 内部重力波の理論……………田中 浩
 II. 超高層の大気波動……………加藤 進
- 第127号(1975年12月)
 大気汚染気象特集
 大気境界層の拡散に関する構造……………横山長之
 大気中のガスや粒子状物質の変遷……………大喜多敏一
 光化学大気汚染に関するシンポジウム
 ●光化学大気汚染中の反応のモデル化と
 その素反応論的基礎……………秋元 肇
 ●大気汚染物質の分布と気象条件との
 関係……………福岡三郎
 ●光化学大気汚染のモデリングと
 シミュレーション……………木村富士男
 ●討 論
 (付録)大気汚染気象用語集……………河村 武

- 第128号(1976年3月)
 最近の気象学と気象事業の展望
 ——気象庁創立百年を記念して——
- 第129号(1976年9月)
 台風特集
 第1章 台風の構造と発達力学……………山岬正紀
 第2章 熱帯低気圧の発生と台風観測
 ………………井沢龍夫・門脇俊一郎
 第3章 台風の進路とその予報
 ………………野本真一・岡村 存
 第4章 台風災害……………奥田 穰
- 第133号(1977年12月)
 都市気候に関する最近の展望
 日本および外国の諸都市における気候
 の変化……………吉野正敏
 都市気候の分布の実態……………河村 武
 都市気候の成因とモデリング……………河村 武
 歴史資料による気候変化、米の生産量、
 価格、人口などの関連に関する研究
 ………………高橋浩一郎
 2次元拡散モデルによる熱使用限界の
 推定……………高橋浩一郎
- 第134号(1978年3月)
 数値予報
 数値予報の歴史的展望……………岸保勘三郎
 基本方程式とエネルギー論……………相原正彦
 積雲対流のパラメタリゼーション……………山岸米二郎
 境界層の取り扱い……………片山 昭
 放射による加熱率の差分計算法と
 その北半球分布……………久保田 効
 客観解析法……………清水喜允
 4次元同化作用とイニシャリゼーション
 ………………住 明正
 数値計算上の問題……………本田秀次・岡村 存
 近藤洋輝・菊池幸雄
 数値予報プロダクトの利用
 ………………立平良三・菊池正武
 予報可能性と延長予報……………住 明正
 世界のオペレイショナル・モデルの現状
 ………………吉田泰治

第 135 号 (1978年 9 月)

海洋力学

- 総論.....吉田 耕 造
- 海洋大循環.....高野 健三
- 海面付近の力学.....鳥羽 良明
- 海洋における地形性モード波.....梶浦欣二郎

第 136 号 (1978年12月)

融雪なだれ特集

- 融雪機構と熱収支.....小島 賢 治
- 融雪水の積雪内部への浸透.....藤野 和 夫
- 融雪水の流出.....小林 大二
- なだれ.....清水 弘

第 139 号 (1980年 3 月) 僅少

気象レーダ特集

- 気象レーダの基礎.....小平 信 彦
- 気象レーダのデータ処理
.....立平良三・志崎大策
武田喬男・岩坂泰信
内藤恵吉
- レーダによる雨量測定と短時間予測.....立平良三
- レーダを利用した最近の研究.....武田喬男

第 140 号 (1980年 8 月)

気候変動シンポジウム (I)

- 一諸要因の変動一
- 過去の気候変動.....高柳 洋 吉
- 太陽放射の変動性.....桜井 邦 明
- 第四紀の火山活動.....町田 洋
- 最近の火山活動.....山元龍三郎
- 地球軌道要素の変動.....中島 映 至
- 地磁気変化.....川井直人

第 141 号 (1981年 5 月)

気候変動シンポジウム (II)

- 一諸要因の変動一
- 世界気候プログラム (WCP) について
.....関口 理 郎
- 気候における雲の役割.....武田 喬 男
- 気候モデルにおける雲の取扱い.....久保田 効
- 黒潮の長期変動.....寺本 俊 彦
- 海が運ぶ熱量.....高野 健三
- 大気海岸相互作用にかかわる海洋変動
へのアプローチ.....鳥羽 良明
- 砂漠の変動.....鈴木 秀 夫

第 142 号 (1981年 7 月)

エアロゾル特集 (基礎編)

- 大気エアロゾルの挙動.....三崎 方 郎
- エアロゾルの測定法 (I)
(サンプリングによる法).....中谷 茂
- エアロゾルの測定法 (II)
(リモートセンシングによる法).....内藤 恵 吉

第 143 号 (1981年10月)

- 気象要素の地域分布の推定.....正務 章
柴田 裕 司
- 日本の気候区分とその技法.....菊地原英和
- 確率予報について.....大滝 俊 夫
- 乱流実験の測定とそのデータ処理.....加藤真規子
- 地球観測衛星による情報の処理.....土屋 清
- 気象極値の再現期間について.....石原 健二
- 多変量解析の気象への応用.....鈴木 栄 一

第 144 号 (1982年 3 月)

気象の遠隔測定 (I)

- 大型レーダーによる中層大気の観測
.....加藤 進・福山 薫
若杉耕一郎・佐藤 享
深尾昌一郎
- マイクロ波によるリモートセンシング
.....青木 忠 生
- 合成開口レーダ.....小平 信 彦
- 音波電波を利用した晴天大気のリモートセンシング.....福島 圓

第 145 号 (1982年12月)

衛星資料の利用

- 会田 勝・二宮 洸三・多田 一 正
- 村上 勝人・安成 哲三・小花 隆 司
- 清水 喜允・磯崎 一郎・竹田 厚
- 赤川 正臣・石原 健二・落合 弘 明
- 大貫 仁八・駒井 二郎・下田 陽 久

第 146 号 (1983年 2 月)

エアロゾル特集 (応用編)

- 硫酸エアロゾルの生成.....池 辺 幸 正・鈴木 国 弘
- エアロゾルの輸送.....佐藤 公 喜
- エアロゾルの除去.....遠藤 辰 雄
- 対流圏エアロゾルの空間分布.....森田 恭 弘
- エアロゾルの気象に与える影響
(雲粒を通しての影響).....児 島 紘
- エアロゾルの気象に与える影響
(日射に対する効果).....村 井 潔 三

気象学の正しい理解が必要……………島貫 陸	第17回	1,300円	
第14回(台風特集)1980年	○気象学への手引	350円	
台風の構造と発生・発達について……………山岬正紀	続・気象学の手引	850円	
台風の数値実験……………北出武夫	○構造物の耐風性に関するシンポジウム論文集		
台風の解析と予報……………上坂慶正	第1回(1970年)	1,500円	
「ひまわり」から見た台風……………山下 洋	第2回(1972年)	2,000円	
台風業務実験……………平塚和夫	第3回(1974年)	2,500円	
台風と災害……………奥田 穰	第4回(1976年)	3,000円	
降水の確率予報……………立平良三・保科正男	第5回(1978年)	3,500円	
第15回(熱収支と気候変動特集)1981年	○風工学シンポジウム論文集		
最近の気候変動と異常気象……………能登正之	第6回(1980年)	3,500円	
太陽放射と地球放射……………会田 勝	第7回(1982年)	4,500円	
簡易日射計の考察……………会田 勝	○百周年記念事業関係		
気象衛星写真の見方……………柴田 宣	「天気」29巻4号(記念号)	(会員 850円)	
気候に影響する大気中の微量成分……………三崎方郎		(一般 1,200円)	
配付価格	「気象集誌」60巻1号(記念号)	(会員 3,000円)	
第5回		(一般 4,000円)	
第9, 11回	日本気象学会100年史	400円	
第14~16回	○WMO Programme on Research in		
	Tropical Meteorology	2,200円	

MAP 国際シンポジウム(京都)のお知らせ

下記のとおり、今秋京都においてMAP(中層大気国際協同観測計画)の国際シンポジウムが開催されます。このシンポジウムはMAPに参加している世界各国の研究者が最新の成果を発表する場であり、現在国内国外合わせて100編を超える論文の発表が予定されています。この分野に関心をお持ちの会員の参加を歓迎します。

時 期 昭和59年11月26日(月)~30日(金)
場 所 新都ホテル(京都駅前)
主 催 京都大学超高層電波研究センター
共 催 SCOSTEP, COSPAR, URSI, IAGA, IAMAP,

日本気象学会, 日本地球電気磁気学会
内 容 I. 中層大気の climatology, II. 大規模波動力学, III. 重力波と乱流, IV. 大気組成・エアロゾルの輸送過程, V. 南極大陸の中層大気
参加費 一般 15,000円, 学生及び同伴者 10,000円
問い合わせ先 (シンポジウム事務局)
〒611 京都府宇治市五ヶ庄
京都大学超高層電波研究センター
TEL. 0774-32-3111
(代表) 松本 紘 助教授